

第4章 生産性向上をしたい

中小企業等事業再構築促進事業（事業転換等の補助金）

1 事業概要

新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する、以下の要件をすべて満たす中小企業等の挑戦を支援する。

（成果目標）

事業終了後3～5年で、付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%（一部5.0%）以上の増加等を目指す。

（要件）

- (1) 2020年4月以降の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前（2019年又は2020年1月～3月）の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少していること
- (2) 事業再構築指針に沿った事業計画を認定経営革新等支援機関と策定すること
（補助額3,000万円超は金融機関も必須）等

2 補助額・補助率（令和4年第6回公募）

申請類型	概要	補助上限額（※1）	補助率
最低賃金枠	最低賃金引上げの影響を受け、その原資の確保が困難な特に業況の厳しい事業者に対する支援	500万円、1,000万円、1,500万円（※2）	中小：3/4 中堅：2/3
回復・再生応援枠	引き続き業況が厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者に対する支援		
通常枠	事業再構築に取り組む事業者に対する支援	2,000万円、4,000万円、6,000万円、8,000万円（※2）	中小：2/3 中堅：1/2 （※3）
大規模賃金引上げ枠	多くの従業員を雇用しながら、継続的な賃金引上げに取り組むとともに、従業員を増やして生産性を向上させる事業者に対する支援	1億円	
グリーン成長枠	研究開発・技術開発又は人材育成を行いながら、グリーン成長戦略「実行計画」14分野の課題の解決に資する取組を行う事業者に対する支援	中小1億円、 中堅1.5億円	中小：1/2 中堅：1/3

（※1）補助下限額は100万円（※2）従業員規模により異なる

（※3）6,000万円超は1/2（中小のみ）、4,000万円超は1/3（中堅のみ）

3 補助対象の例

建物費、機械装置・システム構築費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウドサービス利用費、外注費、知的財産権等関連経費、広告宣伝・販売促進費、研修費（一部の経費は上限等の制限あり）

4 申請について

第6回公募 申請受付：令和4年5月下旬～6月上旬予定

応募締切：令和4年6月30日（木）18：00

※ gBizID プライムの発行には、数週間程度時間を要します。本補助金の申請をお考えの方は余裕をもったID取得の申請をお勧めします。なお、申請〆切りまでに取得が間に合わない方は「暫定ID」での申請も可能です（詳細は事務局HPもしくは公募要領をご覧ください）。

<https://jigyousaikouchiku.go.jp/>

※事業再構築補助金 HP 掲載の「事業再構築補助金 公募要領（第6回）」を基に作成しております。今後、内容に変更が生じる可能性があります。

【問い合わせ先】 事業再構築補助金事務局コールセンター

<ナビダイヤル> 0570-012-088

受付時間 9：00～18：00（日・祝日は除く）



国の補助金（設備投資、販路開拓、IT 導入）

1 ものづくり補助金【設備投資】

(1) 事業概要

中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するもの

(2) 補助額・内容等（令和元年度補正・令和三年度補正 10 次締切）

事業類型		概要	補助上限	補助率
一般型	通常枠	革新的な製品・サービス開発又は生産プロセス・サービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資等を支援	従業員数 5 人以下： 100 万円～750 万円 従業員数 6 人～20 人： 100 万円～1,000 万円 従業員数 21 人以上： 100 万円～1,250 万円	1/2、 2/3（小規模企業者・小規模事業者、再生事業者）
	回復型賃上げ・雇用拡大枠	業況が厳しいながら賃上げ・雇用拡大に取り組む事業者（※）が行う、革新的な製品・サービス開発又は生産プロセス・サービス提供方法の改善に必要な設備・システム投資等を支援		2/3
	デジタル枠	DX（デジタルトランスフォーメーション）に資する革新的な製品・サービス開発又はデジタル技術を活用した生産プロセス・サービス提供方法の改善による生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援		
	グリーン枠	温室効果ガスの排出削減に資する革新的な製品・サービス開発又は炭素生産性向上を伴う生産プロセス・サービス提供方法の改善による生産性向上に必要な設備・システム投資等を支援		
グローバル展開型		海外事業の拡大・強化等を目的とした「革新的な製品・サービス開発」又は「生産プロセス・サービス提供方法の改善」に必要な設備・システム投資等を支援	1,000 万円～3,000 万円	1/2、 2/3（小規模企業者・小規模事業者）

(3) スケジュール等

2 月 16 日（水）公募開始、3 月 15 日（火）電子申請受付、5 月 11 日（水）応募締切（10 次締切）

※本事業の過去の締切回において不採択となった事業者の方は、10 次締切に再度応募いただくことが可能です。ただし、要件等が変更となっていますので、ご注意ください。なお、10 次締切分の採択発表は、令和 4 年 7 月中旬を予定しています。10 次締切後も申請受付を継続し、令和 4 年度内に複数回の締切を設け、それまでに応募のあったものを審査し、随時採択発表を行います（予定は変更する場合があります）。詳しくは、HP を HP もしくは公募要領をご覧ください。

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/index.html>

2 小規模事業者持続化補助金

(1) 事業概要

小規模事業者が経営計画を作成して取り組む販路開拓等に加え、賃上げや事業規模の拡大（成長・分配強化枠）や創業や跡継ぎ候補者の新たな取組（新陳代謝枠）、インボイス発行事業者への転換（インボイス枠）といった環境変化に関する取組を支援するもの

第4章 生産性向上をしたい

(2) 補助額・内容等（令和3年度補正）

事業類型		概要	補助上限	補助率
通常枠		小規模事業者が経営計画を作成し、その計画に沿って行う販路開拓の取組等を支援	50 万円	2/3
成長・分配強化枠	賃金引上げ枠※	販路開拓の取り組みに加え、事業場内最低賃金が地域別最低賃金より + 30 円以上である小規模事業者	200 万円	2/3 ※
	卒業枠	販路開拓の取り組みに加え、雇用を増やし小規模事業者の従業員数を超えて事業規模を拡大する小規模事業者		
新陳代謝枠	後継者支援枠	販路開拓の取り組みに加え、アトツギ甲子園（ピッチイベント）においてファイナリストに選ばれた小規模事業者		
	創業枠	産業競争力強化法に基づく「認定市区町村による特定創業支援等事業の支援」を受け、販路開拓に取り組む小規模事業者		
インボイス枠		免税事業者であった事業者が、インボイス発行事業者として新たに登録し、あわせて販路開拓の取り組みを行う小規模事業者	100 万円	

※賃金引上げに取り組む事業者のうち赤字事業者は、補助率を3/4に引上げるとともに加点による優先採択を実施。

(3) スケジュール等

申請受付締切： ※予定は変更する場合があります。

第8回：2022年6月3日（金） 事業支援計画書発行の受付締切：原則 2022年5月27日（金）

第9回：2022年9月中旬 事業支援計画書発行の受付締切：原則 2022年9月上旬

第10回：2022年12月上旬 事業支援計画書発行の受付締切：原則 2022年12月上旬

第11回：2023年2月下旬 事業支援計画書発行の受付締切：原則 2023年2月中旬

3 IT導入補助金

(1) 事業概要

インボイス制度導入への対応も見据えつつ、企業間取引のデジタル化を強力に支援するもの

(2) 補助額・内容等（令和3年度補正）

事業類型	通常枠		デジタル化基盤導入類型				複数社連携 IT 導入類型
	A類型	B類型	IT ツール		PC等	レジ等	
補助額	30 万円～ 150 万円 未満	150 万円～ 450 万円 以下	～ 50 万円 以下	50 万円 超～ 350 万円	～ 10 万円	～ 20 万円 以下	a. デジタル化基盤導入類型 の対象経費 ⇒左記と同様 b. それ以外の経費 ⇒補助上限額は 50 万円×参加 事業者数、補助率は 2/3 等
補助率	1/2		3/4	2/3	1/2		
補助対象 経費	ソフトウェア購入費、 クラウド利用費（クラ ウド利用料 1 年分）、導 入関連費		ソフトウェア購入費、クラウド利用費（クラウド利用料 2 年分）、ハードウェ ア購入費、導入関連費 【複数社連携 IT 導入類型のみ】事務費・専門家費等				

(3) スケジュール等

申請締切日

【通常枠（A・B類型）】

1次締切分 5月16日（月）17：00（予定）

2次締切分 6月13日（月）17：00（予定）

【デジタル化基盤導入枠（デジタル化基盤導入類型）】

1次締切分 4月20日（水）17：00（予定）

2次締切分 5月16日（月）17：00（予定）

3次締切分 5月30日（月）17：00（予定）

4次締切分 6月13日（月）17：00（予定）

【デジタル化基盤導入枠（複数社連携IT導入類型）】

未定

p30、p31は、令和4年4月1日時点の情報です。公募の変更等の可能性がございますので、詳細については、下記の中小企業庁HPもしくはお問い合わせ先までご確認ください。

【中小企業庁HP】 <https://www.chusho.meti.go.jp/index.html>（TEL 中小企業庁：03-3501-1511）

先端設備等導入計画（固定資産税ゼロ特例事業）

中小企業等が計画期間内に労働生産性を一定程度向上させるため「先端設備等導入計画」を策定し、その計画が北九州市の導入促進基本計画等に合致する場合に認定を受けることができます。

認定を受けた中小企業等で、一定の要件を満たす場合、中小企業が新規に取得した設備の固定資産税を3年間ゼロに軽減します。

この制度を利用いただくためには、設備等取得前に「先端設備等導入計画」の作成・認定が必要です。

1 「先端設備等導入計画」について

(1) 計画の概要

中小企業者が策定した、(①計画期間内(3～5年)に、②労働生産性を年平均3%以上向上させるための)③先端設備等導入計画を、本市が認定。

(2) 計画の認定を受けられる者

中小企業等経営強化法上の中小企業者が対象。但し、固定資産税のゼロ特例を利用できるのは、資本金額1億円以下の法人、従業員数1,000人以下の個人事業主等（大企業の子会社等を除く）。

(3) 税制支援対象設備

生産性向上に資する指標が旧モデル比で年平均1%以上向上する下記設備（中古資産は対象外）
【減価償却資産の種類（最低取得価額／販売開始時期）】

- ◆機械装置 (160万円以上／10年以内)
- ◆測定工具及び検査工具 (30万円以上／5年以内)
- ◆器具備品 (30万円以上／6年以内)
- ◆建物附属設備 ※1 (60万円以上／14年以内)
- ◆構築物 (120万円以上／14年以内)
- ◆事業用家屋 ※2 (120万円以上／－)

※1：家屋と一体となって効果を果たすものを除く

※2：取得価額の合計額が300万円以上の先端設備等とともに導入される場合

(4) 税制支援の内容

認定を受けた先端設備等の固定資産税の課税標準が3年間ゼロへ

(5) 取得期間：計画認定日以降、令和5年3月31日までに取得した先端設備等が対象

2 計画の受付・認定を行う相談窓口

(1) 相談窓口

北九州市産業経済局中小企業振興課

(北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル1階)

(2) 申請の流れ、計画の申請に必要な書類

北九州市中小企業振興課ホームページをご覧ください

※すでに先端設備等導入計画の認定を受けた企業で、設備を追加するなどの計画変更が生じた場合は計画の『変更申請』が必要となります。

北九州市 先端設備等導入計画

検索

<http://www.city.kitakyushu.jp/san-kei/700243.html>



700243.html

【問い合わせ先】

北九州市 産業経済局 中小企業振興課 TEL 093-873-1433 FAX 093-873-1434

第4章 生産性向上をしたい

ロボット等導入・デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進について

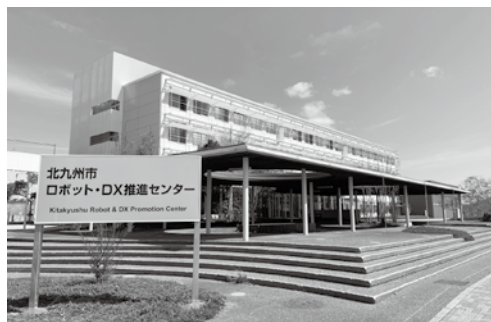
ロボット・DX 推進センター

概要

「ロボット・DX 推進センター」は、地域企業の生産性向上や産業の高度化を図ることなどを目的として、地域企業のロボット導入やDX（IoTの導入や業務のデジタル化等からビジネスモデルの変革まで）推進をワンストップで支援するために、令和4年4月に開設しました。

「導入支援」、「操作体験」、「人材育成」等の取組みを通じてロボット導入やDX推進に意欲のある地域企業を総合的・一元的に伴走支援します。

また、地域企業と高等教育機関、金融機関等との連携を促進し、地域産業の高度化を目指します。



場所

北九州学術研究都市（技術開発交流センター1F）

センターの取組み

ワンストップで支援

ロボット導入支援

DX推進支援

導入支援（無料相談、現場訪問、伴走支援） P34 参照

企業の生産性向上に向けた相談にワンストップで対応。
FAIS コーディネーターや市内企業などの専門家が無料で相談、現場訪問、導入検討・導入実施まで切れ目の無い伴走支援を実施
事例紹介や Sler 企業・大学等の紹介・連携など幅広くサポートします。

操作体験（ロボット・デジタル展示） P34 参照

ロボット、デジタル機器のデモ展示を実施。見て、触れ、操作することができます。
コーディネーターが丁寧に説明します。

人材育成 P35 参照

経営層向けスクール、現場リーダー向けスクール、地元大学生の専門知識を活用したインターンシップ
など、多様な人材育成メニューを用意し、中小企業を支援します。

導入補助金 P36 参照

産業用ロボット・デジタル化・DXに係る各種補助金を準備
企業のロボット導入・DX推進の段階に応じたきめ細やかな支援を行います。
※研究開発補助も実施します。

集いの場、産学官金連携、情報発信 P34 参照

地域企業、Sler、大学、金融機関等の集いの場を創出
（地域企業のニーズや Sler、九工大のシーズの情報共有を促進）
交流会の実施や協力企業等によるセミナー・説明会も企画します。



DX 推進プラットフォーム・Sler ネットワーク P37 参照

その他、学術研究都市では技術相談、共同研究等の支援も実施しています。

【問い合わせ先】

ロボット・DX 推進センター

((公財) 北九州産業学術推進機構 (FAIS))

〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1 技術開発交流センター 1F

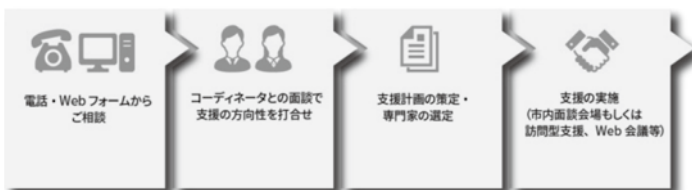
TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667

ロボット・DX 推進センターの紹介

導入支援（無料相談、現場訪問、伴走支援）

- ・企業の生産性向上に向けた相談にワンストップで対応。
- ・FAIS コーディネーターや市内企業等の専門家が無料で相談、現場訪問、導入検討・導入実施まで切れ目のない伴走支援を実施。
- ・事例紹介や Sler 企業・大学等の紹介・連携など幅広くサポートします。

ご相談はこちらまで！
ワンストップ相談窓口
TEL：093-695-3090
<https://ktq-robodx.jp/>



ロボットやデジタルの専門家を派遣

対象
北九州地域の
中小企業

相談
無料



ロボット導入事例

操作体験（ロボット・デジタル展示）

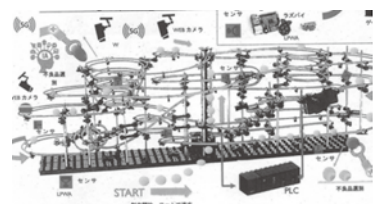
センターでは、ロボット、デジタル機器の 10 種類以上のデモ展示を実施。見て、触れ、操作することができます。コーディネーターが丁寧に説明します。お気軽にお越しください。



※展示イメージ（実際と異なる場合があります。）



ロボットの展示物



IoT 機器の展示物（イメージ）

集いの場、産学官金連携、情報発信

地域企業、Sler、大学、金融機関等の集いの場を創出（地域企業のニーズや Sler、九工大のシーズの情報共有を促進）
交流会・展示会の実施や協力企業等によるセミナー・説明会も企画します。



令和3年度 DX 推進フォーラム
(令和4年1月12日実施)

【問い合わせ先】

ロボット・DX 推進センター

((公財) 北九州産業学術推進機構 (FAIS))

〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北 8-1 技術開発交流センター 1F

TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667

第4章 生産性向上をしたい

ロボット導入・DX推進に対する人材育成支援

①経営層向け

第4次産業革命 エグゼクティブビジネススクール（デジタル技術活用支援セミナー）

DX（デジタルトランスフォーメーション）、第4次産業革命が進む中で、デジタル技術を活用し、成長を目指す中小ものづくり企業の経営層向けビジネススクールです。

デジタル技術による、生産性向上、業務革新、事業成長、技術継承、人材育成、国際基準への準拠等の様々な利点について理解を深めていただき、自社の進むべき将来像を描けるようになっていただくための講座です。

経済産業省の「第4次産業革命スキル習得講座」、厚生労働省の「専門実践教育訓練給付金制度」に認定されています。

内 容	日 程
特別講座（2日間） 第4次産業革命について、特に地域の中小ものづくり企業の立場から見た事業の機会（チャンス）と脅威をビジネススクール形式で議論し、理解を深めていただきます。 〈講師〉 藤野直明・梶野真弘（野村総合研究所）	（募集期間） 5月～7月（予定） （実施期間） 8月（予定）
本講座（5回×2日間＝計10日間） 設計業務の効率化、受注管理、プロジェクトスケジュール管理、製造実行管理、品質管理など、各回ごとにテーマを設け、ビジネススクール形式で議論し、理解を深めていただきます。 〈講師〉 全国の高等専門学校・早稲田大学大学院	（募集期間） 5月～7月（予定） （実施期間） 9月～翌3月（予定）

※講座では、PTC ジャパン(株)、ダッソー・システムズ(株)、ビジネスエンジニアリング(株)、(株)ウェッブアイ、アラスジャパンなどによるデモンストレーションも行います。

詳しくは下記にお問い合わせください。
北九州工業高等専門学校 エグゼクティブビジネススクール事務局 TEL & FAX 093-964-7259

②現場リーダー向け

生産性向上スクール

ロボット・AI・IoT等を活用した生産性向上支援事業

ロボット・AI・IoT等といった新技術の導入が話題となっていますが、「生産性の向上につながる新技術をどのように導入したらよいかわからない。」「社内に検討できる人材がいない。」といった声を多く聞きます。そこで、これらの課題に対応する支援事業を実施します。ぜひご活用ください。

内 容	日 程
スクール事業 ・ロボット・AI・IoT等といった新技術を導入できる人材を育成するための企業向けスクールを開講します。 ＜2021年度のカリキュラム例＞ ・基礎編2講座、IoT編4講座、ロボット編6講座で構成。 ＜受講対象者＞ ・中小企業の経営者、管理者、現場リーダー等。	（募集期間） 6月～8月（予定） （実施期間） 8月～12月（予定） ※詳しくは、メルマガ・HP等で紹介します。

③地元大学生の専門知識を活用したインターンシップ

大学生（九州工業大学）のデジタル等の専門知識を活かした、『有給インターンシップ（仮）』を令和4年度から実施予定です。詳しくはセンターへお問合せください。

学生のスキルアップにもつながるものであり、多くの企業のご活用をお待ちしています。

【②、③の問い合わせ先】
ロボット・DX推進センター
（（公財）北九州産業学術推進機構（FAIS））
〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1 技術開発交流センター 1F
TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667

第4章 生産性向上をしたい

ロボット導入・DX 推進に対する各種補助金

生産性向上を目的とした補助金を各種用意し、ロボット導入・DX を推進する市内中小企業を支援します。

○ 産業用ロボット導入推進補助金

	導入前検証（FS）補助金	導入支援補助金
概要目的	産業用ロボット導入等の事前検証や FS（実現可能性調査）に要する費用の一部を補助	産業用ロボットを導入又は更新に要する費用の一部を補助
対象企業	市内に事業所を有する中小企業製造業に属する事業を営むもの ・生産性向上が目的であること ・先端設備導入による費用対効果の算出、生産工程の分析及びロボットシステムの検討等を行う事業であること。	
交付要件	最大 200 万円 対象経費の 2/3 以内	最大 500 万円 対象経費の 1/2 以内
交付上限	①人件費 ②外注費 ③その他	①導入経費 ②付帯経費 ③その他

○ DX 推進補助金

	デジタル化枠	DX モデル育成枠	DX モデル枠
概要目的	中小企業の生産性向上を図るため、市内中小企業が実施する DX の各種取組み経費の一部を補助します。また、申請枠を 3 段階設置し、中小企業の DX 取組み状況に応じた支援を実施します。		
	社内の業務効率化から始めたい事業者様向け	ビジネスモデル変革に向けた戦略策定から始めたい事業者様向け	新ビジネス創出等、デジタルトランスフォーメーションを加速させたい事業者様向け
対象企業	市内に事業所を有する中小企業		
交付要件	生産性向上を図るため、当該交付対象者が実施する DX の取組みを支援します。		
交付上限	最大 80 万円	最大 200 万円	最大 500 万円
補助率	対象経費の 1/2 以内	対象経費の 2/3 以内	対象経費の 2/3 以内
対象経費	人材育成・教育経費・製品・サービス・開発経費・システム導入経費 環境整備経費・付帯経費・その他		

※昨年度実施した「デジタル技術活用による新ビジネス創出支援補助金」は、令和 4 年度以降、本補助金の「DX モデル枠」として実施します。

※補助率や上限金額・補助対象経費等は予定です。
 ※公募時期はメルマガ、HP 等で別途ご案内します。

【問い合わせ先】

ロボット・DX 推進センター

((公財) 北九州産業学術推進機構 (FAIS))

〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北 8-1 技術開発交流センター 1F

TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667

第4章 生産性向上をしたい

DX 推進プラットフォーム・北九州システムインテグレータネットワーク

北九州市 DX 推進プラットフォーム

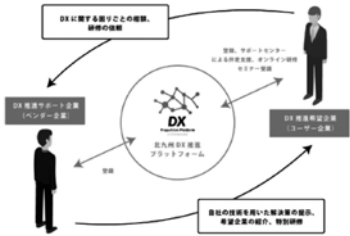
DXを推進したい市内企業とデジタル化を支援するベンダー企業をつなぐ場として設立しました。



DXを推進したい北九州市内の企業と、DXの推進をサポートする企業をマッチングする。
Connect Companies and Companies with "DX".

北九州市DX推進プラットフォームは、「DXの推進を希望する企業」と「DXの推進をサポートする企業」をマッチングできるサービスです。推進希望企業は最適なベンダーを見つけることができ、サポート企業は顧客獲得が図れるプラットフォームです。
※登録には審査があります。

入会申し込み



- ・企業同士のマッチング
- ・労働生産性の見える化
- ・先進事例や支援制度の発信





登録申請をお願いします。

URL: <https://kitakyushudx.force.com/DXmain/s/>

北九州システムインテグレータネットワーク

①北九州地域における中小企業の生産性を向上させること②北九州地域をシステムインテグレータの拠点とすることを目的として結成しました。工場の自動化やデジタル機器の導入をご検討の方はお気軽にご相談下さい。

取組内容の一部を紹介



「サブスクリプション(※)」による産業用ロボット・デジタル技術の導入に関するサービスを開始(令和3年1月)

北九州システムインテグレータネットワークの会員企業が有する産業用ロボット等の商材を「サブスクリプション」により提供するサービスを令和3年1月25日から開始。

※サブスクリプション
一定料金を払えば、一定期間内なら商品やサービスを何度も自由に利用できるビジネスモデル。日本では「定額制」「定額課金」などと訳される。



会員共同での課題解決
現場視察と自動化提案



展示会に出展(共同展示物制作)
ロボット産業マッチングフェアに共同出展予定
(R4. 7. 6～8に出展予定)

会長	(株)ドーワテクノス	2019 入会	(株)FAサポート	2021 入会	(株)ジー・イー・エヌ
副会長	(有)ICS SAKABE	"	(株)タイヨウ	"	(株)ケーメック
副会長	ミシマ・オーエー・システム(株)	"	(株)ヘッズ	"	
副会長	(株)リョーワ	"	松本工業(株)	"	
2018 入会	(株)オーネスト	2020 入会	(株)イーモーション		
"	(株)ソルネット	"	ビーブラッツ(株)		
"	(株)マツシマ メジャテック	"	三島光産(株)		
"	(株)YE DIGITAL	"	(株)リベルタス・アドバイザリー		
			KIQ Robotics(株)		



【問い合わせ先】

ロボット・DX 推進センター

((公財) 北九州産業学術推進機構 (FAIS))

〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北 8-1 技術開発交流センター 1F

TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667